



ほら、  
よこはまは  
あったかい

【発行】 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 施設福祉課 共済担当  
〒231-8482 横浜市中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター 7階  
TEL 045-201-2218 (平日 9時～17時) FAX 045-201-1661

◆事務担当者の方への情報提供や加入者の皆さまへ周知をお願いしたいことなど（ホームページに掲載中）

◆最新情報をメールで受け取れます。[登録はこちらから](#) ⇒ 横浜市社協 メール配信

◆今月の News は、7月31日に開催した運営委員会の内容を特集しています。

- |                              |                         |
|------------------------------|-------------------------|
| 1 令和2年度第1四半期（4月～6月）の運用状況について | 3 今後のアセットミックスについて       |
| 2 財政再計算の結果について               | 5 新事務システムの導入計画について（その1） |
| 4 9月の事務スケジュール                |                         |



お預かりした掛金は給付金の原資として、銀行が信託運用し、四半期ごとに運営委員会に運用状況が報告されます。第2回運営委員会（7/31開催）において承認された議題について報告します。

## 1 令和2年度第1四半期（4月～6月）の運用状況について

	① ベンチマーク	② 実績	超過収益率（②-①）
国内債券	-0.49%	-0.44%	0.05%
国内株式	11.25%	9.89%	-1.36%
外国債券	2.60%	2.38%	-0.22%
外国株式	20.20%	17.67%	-2.53%
合計	4.96%	3.94%	-1.02%

### <信託銀行からの報告（要旨）>

- ・市場が昨年度の大幅なマイナスから一転して株価が大きく戻った。
- ・実績は、ベンチマーク（市場平均）全体が+4.96%だったのに対し、運用実績の合計が+3.94%だった。超過収益のマイナス幅が大きかった要因として、株式にマイナス場面に強いが、プラス場面では若干限定的になるリスク（ブレ幅）を抑制する商品を入れていることや株式の割合を若干少なくしたことが影響した。
- ・今後の運用の考え方として、コロナの第2波やワクチン開発の状況、アメリカ大統領選挙の影響など、引き続き、市場が不透明でリスクの大きい環境にあるため、堅実な運用を続けたいとの説明があり、承認されました。

### <6月末の資産配分>

資産構成	時価総額（千円）	構成割合
国内債券	17,769,029	54.0%
国内株式	4,549,100	13.8%
外国債券	4,434,822	13.5%
外国株式	4,672,770	14.2%
キャッシュ	1,474,157	4.5%
合計	32,899,878	100%

◆6月末時点の時価総額である約329億円を3月末時点の319億円（31,873,262千円）と比較すると約10億円増加しました。

## 2 財政再計算の結果について

3年ごとに実施する財政再計算（基準日はH31年4月1日）の結果について、信託銀行から3案が示され、審議を行いました。

計算結果では、規程上の掛金率（49%）に余裕が生じているが、現在の安定的な財政運営を長期に維持する必要から、掛金率を下げる第1案は採用しないこととし、残り2案の違いについて、信託銀行及び事務局から次の説明がありました。

<第2案> 現行の予定利率2.13%を変えず、財政的な余力を財政基盤の強化に向ける。

<第3案> 予定利率を1.92%に下げ、よりリスクを取らない運用をめざす方向へ。

- ・ 予定利率を若干下げ、安定的運用へシフトする方向だが、将来の収益（見込）が減り、財政の健全性を測る指標である責任準備金が増加し、現有資産が若干不足する点が今後の不安定要素である。
- ・ 国内債券が収益を生まない資産であることが顕著になり、安定資産へシフトする状況ではないこと。

以上、審議した結果、今は市場の先が見通せない状況で、動向を注視する必要がある。予定利率を変える判断を下すことが難しい。そのため、予定利率を変えない第2案を採用することになりました。

## 3 今後のアセットミックスについて

### <信託銀行から説明（要旨）>

- ・ 現行のアセットミックス（資産構成割合）は予定利率2.13%を前提に策定している。
- ・ 今は、国内債券が収益があげられない状況、株のリスクは高くなっている。現在の資産構成割合では、期待リターン（運用収益の見込み）は、1.2%に下がる。
- ・ ただし、過去の運用には貯金があり、今後1.2%で推移しても、今までの予定利率2.2%を上回るシュミレーションが可能。したがって、現在のアセットミックスを見直さなくても、当初の計画を達成できる見込みである。

以上の説明を受け審議した結果、現行アセットミックスで、今後、期待リターン1.2%が続いたとしても、過去の運用実績に貯金があるため、計画達成が可能であることを踏まえると、今のタイミングでアセットミックスの変更を判断することは難しい。そのため、今後の市場環境を見据え、実態に合った分析をもとに改めて検討することとなりました。

## 4 9月の事務スケジュール

9月もよろしく  
お願いします



- ①【提出書類の締切日】施設・団体 ⇒⇒⇒ 社協（共済担当） **9/10 必着**
- ②【給付金振込日（8/10締め受付分）・支給通知書の発送】 **9/10 予定**
- ③【加入者の承認通知書・掛金請求書等（9/10締め受付分）】

社協（共済担当） **9/18 発送** ⇒⇒⇒⇒⇒ 施設・団体

## 5 新事務システムの導入計画について（その 1）

事務局から、「1 導入の必要性」「2 現行事務及び新システムの概要」「3 経費負担」「4 スケジュール」について説明し、審議の結果、計画案が承認されました。

今回は、「1 導入の必要性」について掲載します。

（運営委員会資料（7/31 開催）から抜粋）



### ＜年金共済事業＞ 新事務システムの導入計画（案）について

#### 1 導入の必要性

現行システムが抱えるリスクを解消し、加入者（2 万人分）データを安全・確実に管理するために、新システムの導入計画（案）を提案します。

##### （1）事業継続上のリスクを解消するため

- ・現行システムは、開発後 25 年以上経過し、度々生じる不具合を修正しながら組み上げてきた旧式のものであり、開発業者にシステム設計書が作成されておらず、万一、ハードが故障した際にはシステムの復旧が困難である。
- ・現行システムの OS である Windows 7 はサポート切れとなっており、今後、OS に不具合が生じた際に、プログラム改修等を行っても動作保証が得られない。
- ・地震等の災害や事故、停電など予測できない非常事態時においても事業継続ができるように、ハード面に限らず安全・確実にデータを管理する備えが必要である。

##### （2）セキュリティ上のリスクを解消するため

- ・現在、加入者（2 万人分）データを事務所に置かれたサーバ内で管理し、通常の盗難防止措置はされているが、バックアップ等に課題を抱えており、データ管理等に支障が出ることが懸念される。
- ⇒ 個人情報の保存・管理について、職員が毎日 USB により行う等、事業継続上のリスクに限らず、データ管理上のリスクが大きい。

＜次回以降の「共済 News」に掲載予定＞

- 2 現行事務及び新システムの概要について
- 3 経費負担について
- 4 スケジュールについて

★★★ 施設の事務担当者様あてに、最新情報を随時メール配信しています ★★★  
市社協ホームページ（共済事業のページ）から アドレス登録が簡単にできます！